

## 地元説明会の主な質問と回答（入善町古黒部地区）

Q 今、東北電力第一原発から放射能の放出がないのか？

A【国】古いデータですが、平成24年3月28日公表時点では約0.01億ベクレル/hですが、事故時に比べると8000万分の1となっています。

Q がれきをトラックで運んだあと、トラックの洗浄方法、場所、その排水はどのように処理するのか？

A【広域圏】富山県と協議して実施計画を策定していきます。

Q 飲料水は地下水を使っているが影響はないのか？放射能は無くならないので、たとえ1キロあたり100ベクレルでも、1,800トン燃やすと相当の量になるのではないのか？

A【国】ベクレルの総量は問題ではなく被ばく線量が問題となりますが、クリアランスレベル以下に抑えられるということが分かっています。焼却施設については排ガスから放射性物質が出てくるのではないかという懸念があると思いますが、先行的な事例で排ガスの出口でデータを取ったところ、これまですべて検出下限以下であり、安全確保上問題はありません。

Q 測定時に実際に自分で測定したいがどうか？

A【広域圏】敷地境界の線量測定時には、皆さんの立会いのもとに測定は可能です。

Q 災害廃棄物を処理、測定することによって誰かが儲かっているのではないのか？

A【国】処理費用については、実際にかかった費用を委託料として被災地からいただき、被災地へは国からの補助金が支払われます。決して儲かりません。

Q トラックを使って運搬する費用と焼却費用を合わせてどれくらいかかるのか？そのお金で仮設焼却炉を作った方がいいのではないのか？

A【国】仮設焼却炉を建てるにしても用地が必要です。岩手はリアス式海岸で平地が少なく、また、災害廃棄物の仮置場の確保に重点を置いたため、今の仮設焼却炉が精一杯です。被災地の復興・復旧を早めるために1日でも早い処理が必要です。

Q 今回、広域圏が受けようとするがれきは、福島第一原発の放射能を浴びたが放射線量が少ないものか？または、ほぼ浴びていないと見ていいのか？

A【国】放射性物質の飛散は、当時の気象条件によります。何をもってほぼ浴びて

いないかというふうにみるかということになりますと、富山県で受入れようとしているのは、放射性物質として扱う必要がない 100 ベクレル/kg 以下であるので、そういったものを受入れるのであれば、まったく問題がないと思われま

**Q 昨日報道された震災がれきの工程表の変更の中で、受入れ地に北海道が抜けたのはなぜか？**

A【国】7月29日の時点で岩手県の広域処理量は120万トンでそのうち不燃物90万トン、不燃混合物5万トンとなっていますが、主に不燃混合物が減ったことによるものです。4月23日の発表では北海道も入っていましたが、いろいろな条件、調整により、今回は入りませんでした。

**Q 米を作っているが、風評被害により米が売れなくなり、米の入札価格が下がったら行政で積極的な対応をするのか？**

A【国】風評被害については、未然に防止することが重要だと考えています。そのために安全性の説明が重要で、広域処理の専用のHPを立ち上げ情報を発信しています。6月29日の関係閣僚会合において、政府としても新たな風評防止総合対策に取り組むことを決定し、具体的にはモニタリングの強化、データの積極的な発信を行います。また一元的な風評被害窓口を環境省に設置し、各省庁が連携し迅速な対応ができるように整備したところです。

**Q 風評被害については国と行政でしっかり監視してもらいたい。入善町はうまい米をPRしており、みな穂農協の米が影響を受ける。**

A【町長】それが風評被害であるなら、町だけでなく県下全体で考えて行かなくてはならないのです。岩手で測定しますし、何回もチェックしますので危険なものは来ないと思いますので、恐らく風評被害は無いということでエコぽ〜とで燃やすことに理解してほしいのです。

**Q 地下水にも風評被害があり、風評被害が無いようにしてほしい。**

A【町長】風評被害については十分に取り組んでいきたいのです。また、エコぽ〜とにはバグフィルターが付いており99.99%除去できますし、安全なものしか受けません。

**Q 山田町からエコぽ〜とまでの輸送経路、輸送手段、量はどれくらいか？**

A【県】岩手からコンテナを使い、JR貨物で富山県まで運びます。富山県内では、富山の操作場でトラックに積み替え朝日町のエコぽ〜とに入ります。具体的な道路についてはこれからとなっています。

Q 富山県へ着いたとき、エコぼ〜とへ着いたときの放射線量の測定はどのようにするのか？また、その時、地元が立会いはできるのか？誰が測定するのか？

A【県】検査、測定体制は、山田町で廃棄物を積み込む前に放射能濃度を測定し、100 ベクレル/kg 以下を確認し、それをコンテナに入れて放射線量を測定し、周りと変わらないことを確認します。富山県に入った時、JR 貨物の敷地境界でコンテナの放射線量を測定し、さらにエコぼ〜とで放射線量を測定します。エコぼ〜とでは、皆さんの立会いの下でやられるということも考えているということですので、具体的などころはまた一層ご検討されると思います。

Q 試験焼却はどういったことをするのか？大気を測定するのか？どう試験をして評価を出すのか？

A【広域圏】試験焼却は安全の確認のために実施し、試験前、試験中、試験後に周辺の放射線量の測定や灰、ガスの放射能濃度を測定して、前後で比較をして安全性の確認をすることになります。

Q 試験焼却の期間は1週間と聞いているが、その時のデータ、記録を持って地元が納得できるように説明してもらいたい。

A【広域圏】試験焼却の期間は1日で、測定結果のデータは公表します。

Q 現状のチェックはどんな項目にするのか？試験焼却前と焼却後等いつ測定するのか？本焼却する場合、その後の調査は何年後まで継続して調査をするのか？以上の調査計画を前もって作り、試験焼却する前にもう一度説明会を開いてほしい。

A【入善町】測定ポイントについては、今後、富山県と協議し、広域圏が試験焼却の実施計画を作ります。地元の意見については、区長さんと話をして実施計画の中に入れてもらうようにしたいと思います。町長は新川広域圏の理事者であるので強く話をしていきます。試験焼却の実施計画がまとまれば、広域圏もしくは私たちがその計画について説明する機会を設ける必要があると思っています。

Q 地元の理解を得て焼却としているが、その賛成、反対はどのように決めるのか？

A【区長】

試験焼却の搬入量、実施計画がどのようにするのかハッキリしていないので、それを確認してからとなります。また、入善町全体、朝日町の説明会が終わっ

たあとで、古黒部全体としてどうするのかをみんなで集まり地区としての意思表示をします。もう少し細かい説明を聞かないと判断がつきません。時期的には8月いっぱいまで説明会が行われますので、それを受けた後となります。

#### ○意見等

- ・ 親類が岩手県にいる。昨年、現地へ行き、がれきを処理しなければ復興はないと思った。何万トンもの想像もつかない膨大ながれきの量があり、支援の第一歩はがれき処理だと思う。東北の人が困っておられるので、是非、協力してもらいたい。
- ・ 線量計の測定機器を一家に一台、せめて区に2～3台を貸し出して、いつでも測定できるようにしてほしい。
- ・ 説明が難しいので、簡単にしてもらいたい。
- ・ 試験焼却のための説明会なので、安全性を確認する材料を整えてから「安全ですから焼却します」と説明するのが筋ではないか？
- ・ 古黒部は地下水を利用して、水に神経を使う地区である。蒸気に含まれるもの、浸水によるもの、パッカー車のバケツから放出されるものなどの測定を厳重にしてほしい。